

アンカーニュース

高齢化進展でリバースモーゲージ普及へ——国土交通省、厚生労働省

高齢化社会の進展で、高齢者が所有する持家を担保に生活資金などを融資する「リバースモーゲージ制度」が注目されています。国土交通省が10月からスタートさせる「高齢者の住み替え型リバースモーゲージ制度」のほか、厚生労働省でも生活保護対象の高齢者世帯が所有する持家を担保に生活資金を融資する「要保護世帯向け長期生活支援資金制度」の創設を計画しており、同制度の活用・普及が進むことになりそうです。

国土交通省のリバースモーゲージ制度は、50歳以上のシニア層の持家を借り上げ、終身にわたる賃料保証をした上で子育て世代に賃貸し、保証賃料を引き当てる資金を借り入れることができる制度です。子育てを終えた高齢者世帯が広い持家に住み、子育て世帯が狭い賃貸住宅に住むという居住のミスマッチの解消を目的に、高齢者の持家を活用したリバースモーゲージ型の融資制度を導入しました。

一方、厚生労働省の要保護世帯向け長期生活支援資金制度は、生活保護を受けている高齢者の持家を担保に、高齢者世帯に対して生活資金を融資する制度です。扶養義務のある子世帯が面倒をみず、持家を所有しているにもかかわらず生活保護を受けている高齢者世帯があり、生活保護制度の適正な運用を図るために同制度を創設するもので、来年度予算で要求しています。

こうした両省の取り組みに加え、現在検討されている国土形成計画の全国計画においても、都市部住宅のリバースモーゲージ制度を整備し、地域での住居費用を確保する施策が検討されており、高齢化社会の進展でリバースモーゲージ制度が活用される機会が増えてくることになりそうです。



発行者

合 同 事 務 所 ア ン カ ー

(司法書士・土地家屋調査士・行政書士)

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目 21 番 4 号

新日本ビルディング赤坂 4 階

TEL 03-5575-3458 FAX 03-5575-9385

担当：朝比奈